

会 務 報 告

昭和60年度本学会総会および第4回学術大会ならびに評議員会が昭和61年2月15日(土)に開催された。総会報告の協議事項内容を中心に、またその他について報告する。

1. 昭和60年3月31日、神澤会長、堀越専務理事、秋貞・中村両監事には退職され空席の役員については昭和59年6月行った役員選挙結果を参考とし下記のように決定し、学会運営事務管理を行って来たがこの件について総会席上で正式承認をうけた。

- 会 長 富田 喜内
- 専務理事 岡田 泰紀
- 庶務理事 井藤 信義
- 会計理事 猪股孝四郎
- 企画理事 加藤 熙, 金沢正昭
- 編集理事 奥山 富三, 市田 篤郎, 大野 弘機
- 監 事 安河内太郎, 松本 仁人

2. 昭和60年3月31日付で本学を退任された神澤康夫、堀越達郎、秋貞泰輔、中村治雄、田村俊吉各教授および渡辺享初代理事長の6氏に対し本学会名誉会員証を総会席上で贈呈した。

昭和59年度決算報告書
(昭和59年4月1日～昭和60年3月31日) (単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費	3,286,000	学会開催費	240,000
継続会員		研究発表会開催費	40,000
正会員 135名分×5,000	675,000	招待講演会等補助金	200,000
準会員 37名分×3,000	111,000		
賛助会員 27名分×30,000	810,000	印刷費	2,477,899
新規会員		謝 金	421,900
新卒者 110名分×5,000×3年	1,650,000	通 信 費	174,860
その他 8名分×5,000	40,000	交 通 費	74,000
入 会 金*	28,000	備 品	24,600
バックナンバー分与収入	27,000	事務用品費	132,227
広 告 料	667,500	雑 費	1,615
投 稿 料	116,000	次年度繰越金	3,337,138
別 刷 料	25,750		
受取利息	39,556		
前年度繰越金	2,694,433		
合 計	6,884,239	合 計	6,884,239

※新卒者以外の新規入会金は8名分であるが、この入会費は6名分で、不足2名分は退会者の再入会のため、2名につき免除したものである。

本年決算報告は、帳簿等関係諸表精査の結果、相違ないことを認めます。

昭和60年4月15日
 会計監査 安河内 太 郎 ㊞
 会計監査 松 本 仁 人 ㊞

3. 理事会は60年4月より12月までの間、5回開催した。

4. 会員状況

会員総数 431名 (昭和60年12月31日現在)
 内 訳 正会員 384名, 準会員 17名,
 賛助会員 26名, 名誉会員 4名

会員動向 (昭和60年4月1日～12月31日)
 新入会員 120名, 準会員 14名

5. 会則の一部改正

総会において下記の通り承認された(アンダーライン部追加)。

会則現行第10条に次の——の語句を加える。

第10条 学会の会費を次の通り定める。

- 1. 正 会 員 入会金 3,000円 年会費 5,000円
 - 2. 準 会 員 年会費 3,000円
 - 3. 賛助会員 入会金10,000円 年会費30,000円
- 但し、新入会員にして会費3年以上を前納した者に対して入会金を免除する。

6. 昭和59年度、昭和60年度決算報告書ならびに昭和61年度予算書は下表の通り承認された。

昭和60年度 決算報告書*
(昭和60年4月1日～昭和60年12月31日) (単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費	1,755,000	学会開催費	338,633
継続会員		研究発表会開催費	0
正会員 158名分×5,000	790,000	招待講演会等補助金	338,633
準会員 20名分×3,000	60,000	特別講演会 2回	
賛助会員 27名分×30,000	810,000	定例講演会	
新規会員		印刷費	950,375
新卒者 3名分×5,000×3年	45,000	謝 金	258,000
その他 10名分×5,000	50,000	通 信 費	48,970
入 会 金	30,000	交 通 費	48,000
バックナンバー分与収入	0	備 品	0
広 告 料	367,500	事務用品費	15,892
投 稿 料	97,000	英文校正料	96,000
別 刷 料	40,600	英文作成料	5,000
英文校正料	64,500	雑 費	4,045
受取利息	76,344	次年度繰越金	4,003,167
前年度繰越金	3,337,138		
合 計	5,768,082	合 計	5,768,082

※昭和60年4月22日理事会において会計年度の変更が承認され歴年度とした。

本年決算報告は、帳簿等関係諸表精査の結果相違ないことを認めます。

昭和61年1月29日
 会計監査 安河内 太 郎 ㊞
 会計監査 松 本 仁 人 ㊞

昭和61年度 予 算 書
(昭和61年1月1日～昭和61年12月31日)

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費	3,370,000	学会開催費	440,000
継続会員			
正会員 150名分×5,000	750,000	学術講演会開催費	40,000
準会員 15名分×3,000	45,000	招待講演会等補助金	400,000
賛助会員 26名分×30,000	780,000		
新規会員			
新卒者 118名分×5,000×3年	1,770,000	印刷費	2,200,000
その他 5名分×5,000	25,000	謝 金	400,000
入会金 5名分×3,000	15,000	通信費	100,000
バックナンバー分与収入	0	交 通 費	50,000
広告料 15社×15,000×年2回	450,000	備 品	200,000
投稿料 3枚×7,000×年2回	42,000	事務用品費	50,000
別刷料	40,000	英文校正料	100,000
英文校正料	70,000	雑 費	50,000
受取利息	70,000	予 備 費	200,000
前年度繰越金	4,003,167	次年度繰越金	4,270,167
合 計	8,060,167	合 計	8,060,167

7. 講演会, 学術大会等の開催報告

昭和60年3月2日 第3回学術大会

昭和60年6月5日 Dr. J. J. Pindborg 特別講演会

昭和60年7月15日 Dr. T. Okabe 特別講演会

昭和60年10月19日 岩手医大鈴木鍾美教授, 本学富田喜内教授による定例講演会

昭和61年2月15日 第4回学術大会

8. 東日本歯学雑誌の発行報告

昭和60年度は Vol. 4, No. 1 総説1, 原著4(英文1), 研修講座1, ならびに Vol. 4, No. 2 原著5(英文1), 研修講座1 発行した。

昭和61年度 Vol. 5, No. 1 には海外寄贈の為, 表紙Ⅲに英文編集委員, 学会役員を登載予定, Vol. 5, No. 2 には Vol. 1～Vol. 5 の総目次を入れる予定としている。

なお海外寄贈先は16ヶ所で創刊号より発送, 本号より発行次第送付することとしている。

9. 学会事務の臨時職員宮崎美智代さんは一身上の都合で本年3月31日退職された。後任として高嶋みち子さんを採用した。